

主な内容

- 2 まだ使える空き家 眠っていませんか
- 8 令和4年度決算報告
- 12 いきいき健康
- 14 暮らしの情報
- 31 学芸員のイチオシ/天草の匂いただきます!
- 32 元気☆あまくさっこ/〇〇な人み〜つけた!
- 33 ハッピーバースデー
- 34 宝島のわだい
- 36 キラリ天草人
- 37 市民のひろば
- 42 休日在宅病(医)院/水道修繕当番店 献血日程
- 43 お出かけ情報/市長コラム
- 44 1人で悩まずに、ご相談ください

天草市公式 SNS



人のうごき

9月末日現在

9月中の異動		※()内は前月比	
人口	73,697人 (89減)	出生	23人
男	34,825人 (37減)	死亡	97人
女	38,872人 (52減)	転入	88人
世帯数	36,193 (9減)	転出	103人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所 ☎23-1111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111 御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111 栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111 五 和☎32-1111・天 草☎42-1111 河 浦☎76-1111

まだ使える 空き家 眠っていませんか

人口や世帯数の減少、新築住宅数の増加などにより全国的に空き家が増加しています。中には適切に管理されず、周囲の生活環境に悪影響を及ぼしているものも。空き家は大切な資源です。適切な管理・対処を行い、空き家を活用しましょう。

今号では、空き家の活用・対処方法を紹介いたします。

問 地域政策課 ☎27-6000

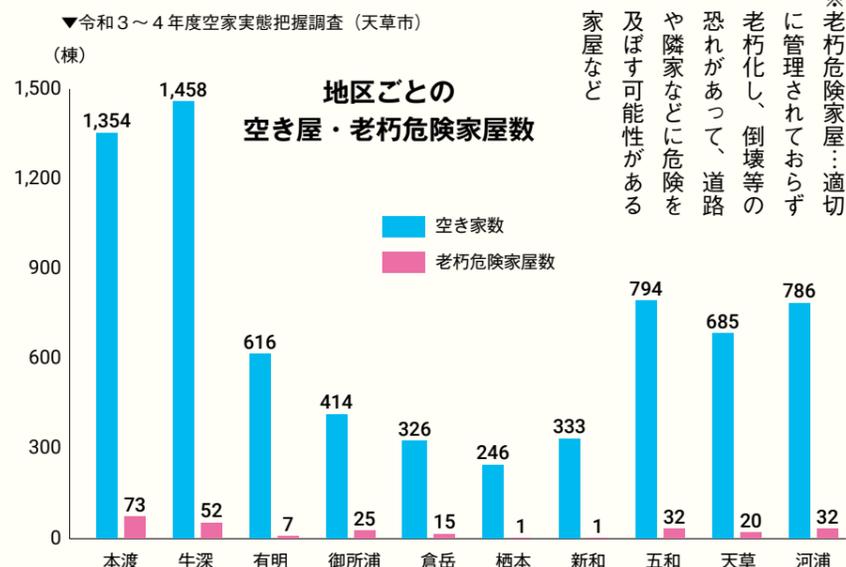
空き家の現状

総務省の住宅・土地統計調査によると、本市の空き家率は県内で2番目に高くなっています。令和3・4年度に市が行った空家実態把握調査では、7012棟の空き家があり、そのうち258棟が、老朽危険家屋となっています。今後、人口や世帯数の減少により、ますます空き家の増加が見込まれます。

	住宅戸数	空き家数	空き家率
天草市	40,620	9,000	22.2%
熊本県	814,000	111,900	13.8%
全国	62,407,000	8,489,000	13.6%

▲平成30年住宅・土地統計調査(総務省)

※老朽危険家屋：適切に管理されておらず老朽化し、倒壊等の恐れがあつて、道路や隣家などに危険を及ぼす可能性がある家屋など



空き家を放置すると起こる問題

- ・瓦が落ちたり、壁や塀が崩れたりして周囲への被害が出ると、損害賠償責任を負う場合がある
- ・動物がすみつき、繁殖や糞尿により周辺環境が悪化する
- ・立木が伸びて電線に触れることで、漏電や停電、火災の原因となる
- ・不審者の侵入や放火などの犯罪が起きる恐れがある

「空き家を登録したい」という所有者も、「空き家を買いたい、借りたい」と考えている人も、ぜひお気軽にお問い合わせください。

☎ 地域政策課
☎ 27-6000

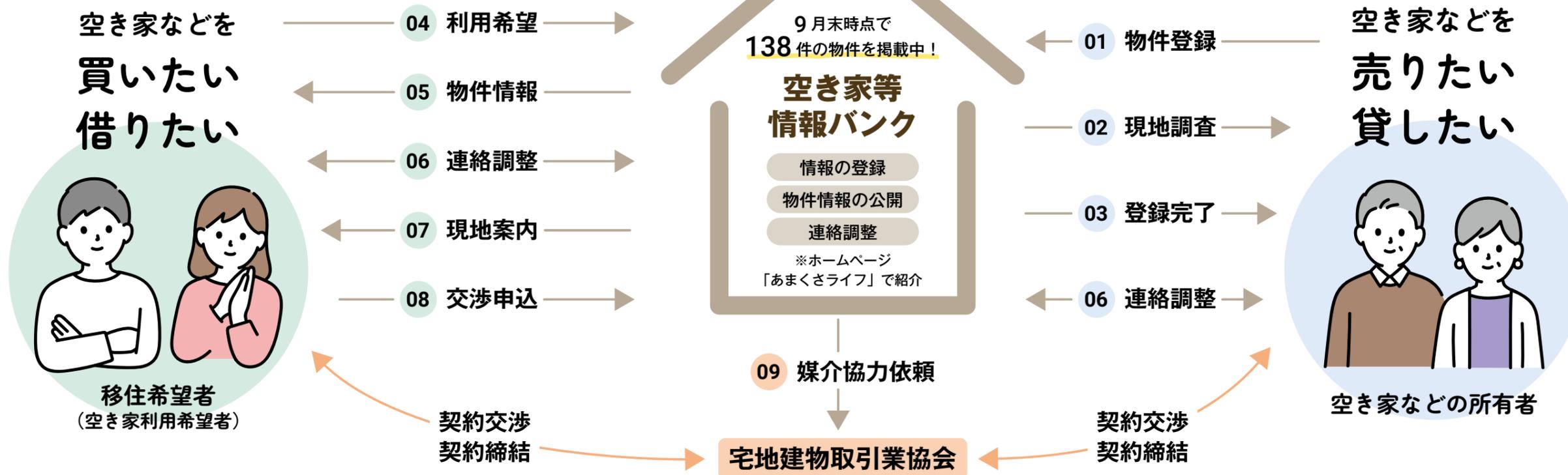
・空き家の改修などにかかる費用に対する補助制度があります。

詳細はこちら



・空き家バンクに登録後、180日を経過した物件は、空き家所有者の希望に応じて市民への紹介が可能となります。

空き家等情報バンク制度の概要



移住・定住を希望する人（天草島外に在住の人）に、市内にある“空き家”や“空き地”の情報を提供するための「空き家等情報バンク制度」があります。

登録にあたっての注意点

- ・登録した物件について、市は管理を行いません。
- ・登録期間は、登録の申し込みを行った日から2年間で
- ・登記がされているかを確認してください。登録する物件の登記が済んでいないと、契約が進まない場合があります。

申し込み後の流れ

- 01** 移住・定住コーディネーターによる現地調査
- 02** 空き家等情報バンクへの登録完了(却下)通知
- 03** 地域政策課へ申込書などを提出、またはあまくさライフから登録
- 04** 天草市移住・定住サイト「あまくさライフ」での情報公開
- 05** 利用希望登録者への現地案内
- 06** 不動産業者を通じた交渉・契約(市は介入しません)
- 07** 09

登録対象物件

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)に位置していないもので、次のいずれかに該当するもの

- ・個人が居住を目的として建築した建物で、現在居住しておらず(居住しなくなる予定を含む)、居住可能なもの
- ・住宅などの建築に適切な面積を有する、良好な管理状態にある更地(更地になる予定を含む)

01 空き家などの物件登録に必要な書類

- ・申込書および同意書
- ・空き家などの所有者が確認できる書類(固定資産税・都市計画課課税明細書の写しなど)

01 登録申込方法 (次のいずれか)

- ・地域政策課へ郵送、または天草市移住・定住サイト「あまくさライフ」から登録

あまくさライフ

空き家の情報をライブ動画で発信中!

Instagram



希望者を現地へ案内



物件の現状や周辺環境などを説明

が見つかるよう案内するようにしています。

移住希望者はもちろん、空き家の所有者からの相談も受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

本市には、移住希望者への細やかな対応を行うため、3人の移住・定住コーディネーターがいます。3人とも市外からの移住者で、移住者目線に立った対応を心掛けています。

移住を希望する人は「釣りがしたい」「農業がしたい」「海が見えるところが良い」など、さまざまな希望を持って相談されます。気持ち良く移住してもらうには、移住希望者・地域・空き家所有者をつなぐことが大切です。自分が住むと仮定して、物件の状態を調査したり、活用方法をイメージしたりするだけでなく、地元の人への聞き取りなどを行い、希望者に合った物件・地域

空き家のご相談ください



移住・定住
コーディネーター
溝口大地さん

老朽危険家屋を解体したい

住むのが
難しい

市民の安心・安全の確保と住環境の改善、良好な景観の促進のために、市内の老朽危険家屋などの解体にかかる経費の一部を補助しています。

対象

老朽危険家屋と認定された住宅・兼用住宅（住宅用途以外の部分の床面積が延べ面積の2分の1以内かつ50㎡を超えないもの）

補助金額

補助対象経費（解体工事費など）の2分の1以内で上限50万円（千円未満は切り捨て）

※家屋内の家財道具の撤去や立木の伐採、塀の撤去などは対象外

申込方法

事前調査申込書を持参、または郵送してください。
※予算の上限があるため、申し込みを検討する場合は事前にご相談ください。



申問 建築課 ☎32-6797
各支所

詳細はこちら▶



令和6年4月1日から 相続登記が義務化

相続登記がされないため、登記簿を見ても所有者が分からない「所有者不明土地」が全国で増加し、周辺の環境悪化や公共工事が進まないなど、社会問題になっています。この問題の解決のため、令和3年に法律が改正され、これまで任意だった相続登記が義務化されることになりました。

●相続登記とは？

法務局に申請し、相続した不動産（土地・建物）について不動産登記簿の名義を変更すること



●相続登記をしないとどうなるの？

相続人は、不動産を相続で取得したことを知った日から3年以内に相続登記することが義務化されました。令和6年4月1日より前に相続した不動産も、相続登記がされていないものは、義務化の対象となります（3年間の猶予期間あり）。

正当な理由がないのに相続登記をしない場合、10万円以下の過料が科される可能性があります。

※手続き方法など詳細は、法務省ホームページを確認してください。



ホームページ▶

「遠方に住んでいて管理が困難」「身体的・年齢的に管理が大変」など、空き家となった住宅に対する不安や悩みの声を聞きます。相続によって自分が空き家の所有者になることもあるかもしれません。適正な管理をしないと空き家は負の資産となってしまいます。

空き家バンクを活用するなど、空き家の新たな活用方法を見つけてみませんか。

空き家がつなぐ新たなカタチ

牛深
ベース
BASE

(株)CASE
菊池明子さん



(株)CASE
稲盛愛子さん

天草市内で空き家の戸数が最も多い牛深地域。そんな牛深で市の委託を受け、空き家を使った地域おこしをしているのが(株)CASEです。空き家を取得したのは2年前。牛深での活動を「牛深BASE」と名付け、建築・美術学部の大学生や牛深高校の生徒も手伝って空き家を改装。外壁は青色に塗装し、牛深支所近くに目を引く建物を完成させました。

○牛深で空き家を活用してみよう？
今年の4月に牛深BASEの一

角にあるシェアキッチンを活用し、牛深じもと食堂をオープンしました。金・土・日曜日の週3日営業し、地域住民の新たなつどいの場となってきたと思っています。(稲盛さんは)滋賀県と牛深の二拠点生活をしており、総務省の地方創生の施策である「地域活性化起業者」として月の半分は牛深に滞在します。来るたびに地域住民から「おかえり」と歓迎してもらえます。「冷蔵庫を探している」と言えば、使わなくなったものを持ってきてくれたり、食堂に野菜や魚を提供してくれたたりする人もいて、ここは「人と人のつながりが日常にあふれ、とてもあたたかい場所」だと感じています。

○牛深BASEをどんな場所に？
これまで、牛深高校の生徒によるレモンパンやラーメンなどの開発をサポートしたほか、シェアガレージではマルシェや、地元団体とコラボしたイベントなどを開催しました。ここ牛深BASEに集まった人同士のつながりが生まれ、日常がより楽しくなる場を目指します。

情報発信中!



Instagram



週替わり定食。この週のメインは麻婆なす



大学生による内装のリノベーション

このように変わりました!



コワーキングオフィスに



みんなが集う食堂
(シェアキッチン)に



ガレージの外壁は
海をイメージした青色に